

「車内積載用サイクルキャリア」自作

還暦を過ぎ、足腰が弱くなったので、夫婦で近場のサイクリングコースに行き、のんびりサイクリングをして、体を鍛えることとしました。

そのために、軽自動車（タントエグゼ）の車内に2台分を乗せるための、「車内積載用サイクルキャリア」を自作してみました。



市販品は「前フォーク受け型」が多く、高齢者にとって車内での取付けは、窮屈で大変そうなので、1台ずつ外で組んで、スキーのように、スーと車内へ入れたり出せるようなもので、更に前輪だけ外す場合と両輪外す場合の2通りに対応できるマウントを考えてみました。



自転車は、ロードバイクとクロスバイクです。

（ロードバイクは古い（1975年製）ので、リアフォーク間が110mmしかない点が課題でした。）

「材料」

- ①エンド金具（フロント用）100mm×2、
- ②エンド金具（リア用）130mm×2、
- ③パイプ支持金物×2、
- ④木材、
- ⑤ボルトナット等



「作り方」

1. 板（幅 80mm、長さ 1200mm）の先端にフロントエンド金具をパイプ支持金具で固定し、板の後部には後輪支持用箱を取付。
2. ロードバイク用のリアクイックリリースは、パイプをカットしボルトナットを入れて、110mmに加工。
3. リアエンド金具は、クイックリリースを穴に通すのが大変なので、上からスーと取り付けることが出来るよう、穴上部をL型にカットのうえ、角材に木ネジで固定し、後輪支持用箱内に固定。
4. 完成（ロードバイクとクロスバイクではリアエンド金具の位置が多少異なります。）



「マウント1」

(前輪のみ外して車載する場合)

この方法だと後輪を外さなくて楽ですが、タイヤの1/3位長くなるので、我タントエグゼの場合、運転・助手席を最大限、エンジンルーム側にする必要があり、長距離運転には不向きです。



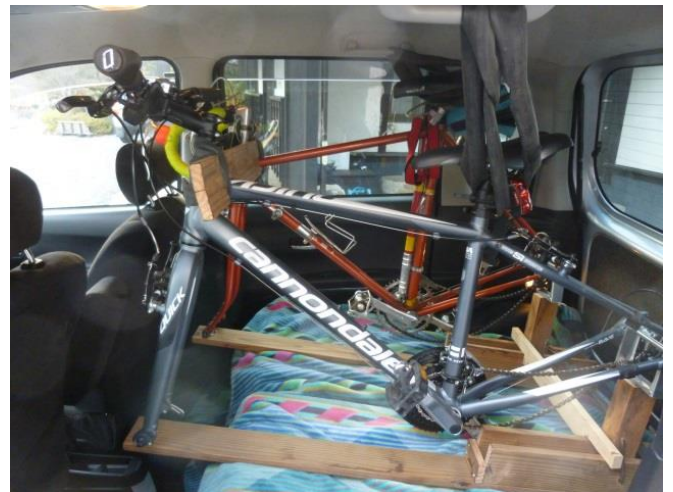
「マウント2」

(両輪を外して車載する場合)



「車載状況」(マウント2の場合)

タントエグゼに両輪を外した方法(マウント2)で積み込んだ状況です。(走行時の横ブレで自転車が車の内装に当たるのを木材と自転車チューブでもって防いでいます。) 車内は結構余裕があります。



「まとめ」

- 2台の自転車の規格が違っていたため、手探りでそれぞれの寸法に合わせるなど手間が掛かり、製作には土日の2日要しました。
- 木材やボルトナットなどは家にあったものを使用したので、費用は約5000円で済みました。
- 見た目は無骨ですが、便利で、安くて、面白いものが出来たと思っています。